



会場を魅了する银杏座のみなさん

ステージも盛大に 银杏座の絵本朗読も



安原の
いま

総人口 4,650人 (前年比+19人) 【男 2,242人 女 2,408人】
安原地区公民館 〒390-0802 松本市旭2-11-13 TEL 0263-39-0701



利用団体の力作が並んだ展示コーナー

展示と発表広がる笑顔の場

安原地区文化祭・ひろばまつり

た。

10月19日、20日の2日間、第19回安原地区文化祭・ひろばまつりが開催されました。

さわやかな秋晴れとなった初日の朝、会場の安原地区公民館の大会議室では、開会式と旭町小学校ブラスバンドによるオープニングセレモニーが行われました。前庭では恒例のポップコーンコーナーや日赤奉仕団のバザー、いなりずしやおやきなどの販売などが行われ、時間とともにたくさんの方が集まってきました。

館内では、習字や写真、編み物、手まりなどの作品が展示され、丹精込めた作者の思いが伝わってくる素晴らしい作品が並びました。

人気のお抹茶コーナーでは、おいしいお点前をいただきながら談笑する人たちの楽しそうな声が、途切れることなく広がりました。

大会議室ではダンスや舞踊のサークル発表、大学生の吹奏楽の演奏などが行われました。演奏者は初め緊張していた様子でしたが、だんだん明



賑わった販売コーナー(上)とお抹茶コーナー



生き生きとしたダンス発表

るい表情になり、堂々とした発表を披露しました。

夜間スクール银杏座はサティ作曲「ジムノペディ」に合わせた絵本「100万回生きたねこ」の朗読を発表しました。声のトーンと音楽がすてきなハーモニーを醸し出して会場の人たちを絵本の世界へ引き込みました。

最後は、信州大学吹奏楽団のフルートの伴奏で「信濃の国」の全員合唱。素晴らしい演奏や、一生懸命発表する姿が文化祭を盛りあげました。

心に響くハーモニ

第2回あさば野実りの音楽フェスタが、9月21日に旭町小学校体育館で盛大に開催され、合わせて600人が秋の音楽祭を楽しみました。

旭町小学校ブラスバンドと旭町中学校吹奏楽部が合同で演奏した「サザンカ」は、息の合ったハーモニを見せました。また、初参加の信大附属松本中学校吹奏楽部はおなじみの演歌メドレーを披露するなど、それぞれの年代の個性があふれた楽しいステージが繰り広げられました。



信大附属松本中吹奏楽部の迫力ある演奏



旭町小ブラスバンドと旭町中吹奏楽部合同演奏



松本美須ヶ丘高校合唱部の歌声

いちよう並木

「秋を彩るキキョウ科 イワシャジン」

キキョウ科ツリガネニンジン属のイワシャジンは、日本原産の植物で花期は9月から10月です。

標高の高い岩場に自生し、こぶりで下向きに咲く情緒ある山野草です。育て方は比較的簡単で、鉢栽培にも適しています。水はけの良い用土で、梅雨期までは日なた、梅雨明けからは半日陰に置きます。6月下旬から7月にかけて分枝した茎の先端をつまみ取るとそこから新芽が伸びて花つきが良くなります。白花種もあり、株によって薄紫から茄子紺へと色に変化が見られます。

日本人好みの山野草のひとつとして知られています。



資料館の展示物を熱心に見学する参加者たち

浅川資料館で 人権啓発研修

安原地区人権啓発推進委員会は9月24日、朝鮮工芸の美しさを世界に伝えた兄弟の功績を紹介する山梨県北杜市の浅川伯教・巧兄弟資料館で視察研修をしました。

地元の人たち20人が参加しました。館長の両宮正樹さんから「2人はいまの北杜市に生まれ、日本の植民地統治下

催しが事前に周知された新聞の記事を見て訪れたという女性は「みんなよく練習しているのが伝わる。リズムが

揃っていて素晴らしい」と感動した様子でした。

小山俊樹実行委員長は「多くの文教施設が存在する地区で幅広い年代が交流し、小中学生は先輩を見て自分の将来を描き、大学生、高校生は思い出を重ねるような、和

にあつた朝鮮に大きな足跡を残した」などの説明を聞きました。

兄の伯教は、産地の窯跡調査に取り組むなど朝鮮の陶磁史研究に生涯を捧げ、朝鮮半島の緑化を進めた弟の巧は、白磁や木工芸の価値の創出にも努めました。兄弟は日本の民芸運動の創始者・柳宗悦とともに朝鮮民族資料館を創設しました。

兄弟資料館には窯跡調査の様子を描いたジオラマや伯教

の作品の数々、巧の日記などが展示されています。日記には「恩寵を感じつつ元気で大正十一年を迎えた」などと記されています。

参加した人たちは「日本と韓国は政治では冷え込んでいるが、先人の足跡を学ぶことで互いの国の理解と交流が深まれば良い」と話していました。

◆おこわり 信大キャンパス探検隊 休みます



秋に花期を迎えるイワシャジン